

寄稿 1

スタートアップ 支援拠点 「Key Site」の 取り組みについて



株式会社紀陽銀行 理事
ソリューション戦略部長

柴田 昌良



1. Key Site開設について

株式会社紀陽銀行は2025年5月2日に創立130周年を迎えました。これもひとえに、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまのあたたかいご支援とご愛顧の賜物であり、役職員一同心より感謝申し上げます。

さて、当行ではこの節目の年に、経営理念である「地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む」の実現に向け、「紀陽銀行130周年記念事業」を実施しています。

その記念事業の主な施策の一つとして、株式会社マネーフォワードのグループ会社であるマネーフォワードベンチャーパートナーズ株式会社が運営する「HIRAC FUND（ヒラクファンド）」、ソーシャルワーキングの「株式会社ATOMica」とともに、和歌山市内に創業・スタートアップ支援を目的としたインキュベーション施設「Key Site（キーサイト）」を3月27日に開設しました。

「Key Site」の1階は地域の方々が気軽にコーヒーや軽食を楽しんだり、交流できるカフェとショップ、2階はセミナーやワークショップ、交流イベントなど多目的に利用できるイベントスペース、3階はドロップイン（一時利用）でも利用できる、心地よい雰囲気のコワーキングスペース、5階は365日24時間利用可能なレンタルオフィス24室を備えています。

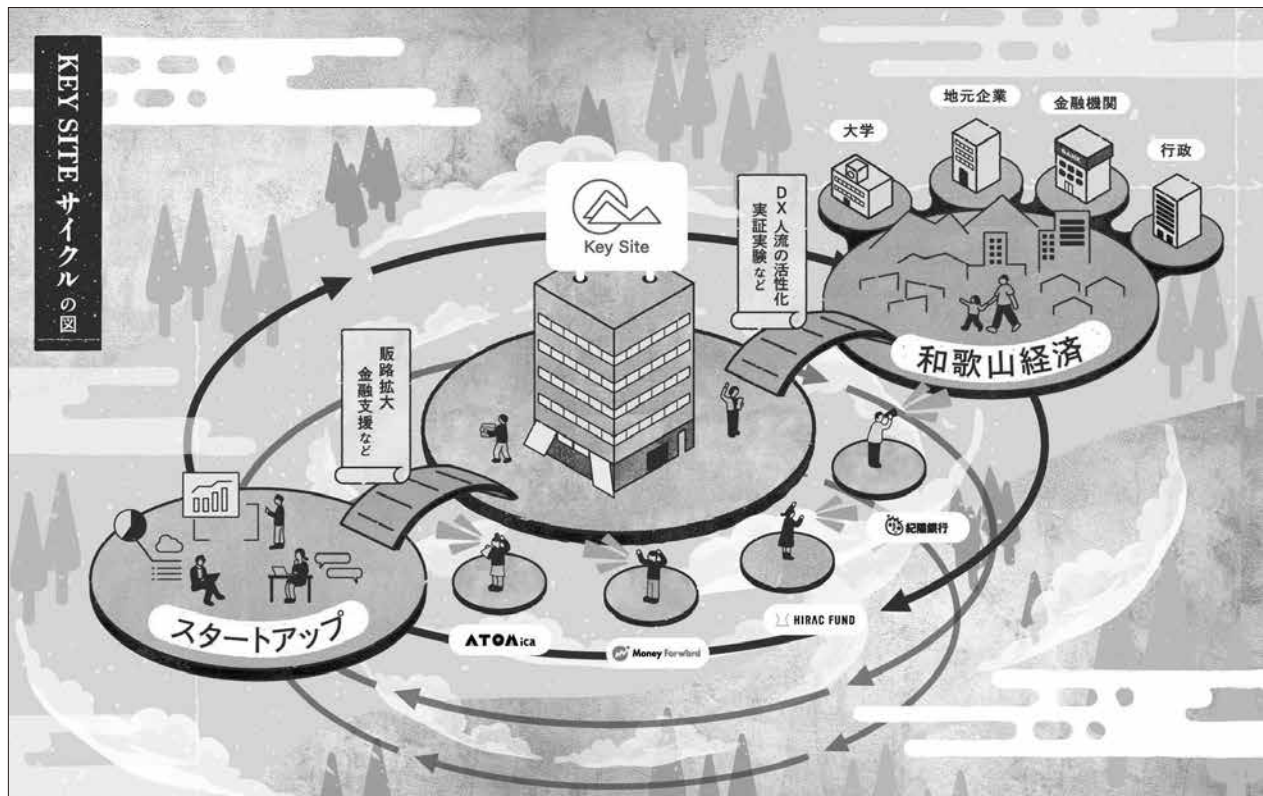
「Key Site」とは、「和歌山からビジネスが生まれ成長する鍵となる」という意味が込められており、当施設のテーマとして、“Region Bridge”（スタートアップと地域をつなぐ懸け橋）を掲げています。

「Key Site」を起点としてスタートアップ、起業家、学生や地元企業含めた地域経済が相互に連携・交流・成長する場をつくり、その懸け橋となることで和歌山の地域経済の成長を目指します。

多様な人々が出会い、つながり、新たな可能性が広がるオープンな当施設で「起業を志す方や起業家との共創」、「スタートアップと

の共創」、「成長を志す企業との共創」、「DXを志す企業との共創」を促し、地域の皆さまの

あらゆる挑戦の第一歩を支えていきたいと考えています。



【Key Site外観】



【Key Site 1階カフェ】



【Key Site 2階イベントスペース】



【Key Site 3階コワーキングスペース】



【Key Site 3階会議室】



【Key Site5階レンタルオフィス】

2. Key Site開設の背景、取り組みについて

現在和歌山県は、人口減少と事業者の減少という大きな地域課題を抱えています。人口減少については自然減だけでなく、転出超過による社会減も要因であり、若年層の県外への進学・就職などが主な要因として挙げられます。また事業者の減少が進み、開業率も関西地域の中で最も低い状況となっています。

世の中の流れが目まぐるしく変わるなか、既存の産業だけでは地域経済の持続的な成長は難しく、新たな産業を創出し多様なビジネスを生み出す必要がありますが、そのためには起業から成長するまでのプロセスに必要なサポートを提供するインフラや、起業を志す方々が安心してビジネスを開始し成長させるための環境整備が必要です。

これらの社会課題を解決するために紀陽銀行、HIRAC FUND、株式会社ATOMicaの三者は地域に根ざした“Region Bridge”拠点である「Key Site」を開設しました。

今後、創業・スタートアップ支援を目的に和歌山県内の事業者、金融機関、行政や教育機関と連携し、以下のような取り組みを行ってまいります。

- ・和歌山県内の起業および起業後の支援を促進し、新たな産業創出の起点作り
- ・県外スタートアップとの交流を促し、新しい技術やサービスを活用した地域企業のDXや新たなビジネスの創出
- ・拠点をベースに学生も含めたネットワーク

を構築することで、地元企業の採用や人流の活性化

これらの取り組みにより、起業から成長するまでのプロセスに必要なサポートを各連携先とともに実施し、地域のスタートアップエコシステム構築を目指してまいります。

3. 「和歌山県におけるスタートアップ支援・DX推進に関する連携協定」の締結について

「Key Site」開設と同日の3月27日、紀陽銀行は株式会社マネーフォワードおよびマネーフォワードベンチャーパートナーズ株式会社、SDFキャピタル株式会社とともに「和歌山県におけるスタートアップ支援・DX推進に関する連携協定」を締結しました。

この協定は創業・スタートアップ支援拠点「Key Site」を通じた和歌山県の経済発展を目的として、四者で以下の内容について連携し、取り組みを進めるためのものです。

- ・Key Siteで行う企画及びプログラムに関すること
- ・当行の展開エリアに向けた、マネーフォワードグループのサービスによるDX推進に関すること
- ・当行の展開エリアに向けた、ベンチャーデット支援に関すること

当行は2024年に発表した「第7次中期経営計画」における主要戦略として、「デジタ

ルバンキング戦略・地域DXの推進」や「サステナビリティ戦略・地域未来の創造」等を掲げており、これらの具体的な連携により、地元地域の課題を解消し持続可能な成長に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。



【連携協定発表会の様子】

4. 「紀陽スタートアップデットファンド」の設立について

紀陽銀行は、グループ会社である紀陽キャピタルマネジメント株式会社とSDFキャピタル株式会社とともに、2025年度中に「紀陽スタートアップデットファンド」を設立することを決定しました。

このファンドは、当行グループのスタートアップ支援体制の拡充に向けた取り組みであり、投資対象の50%以上を当行の地元エリアである関西圏に接点のあるスタートアップ企業に投融資することを目指すものです。

当行グループの強みである和歌山県・大阪府の営業エリアにおけるネットワークおよび幅広い支援体制と、SDFキャピタル株式会社の強みである国内スタートアップ業界とのネットワークおよびスピード感のある投融資判断という両者の強みを運営に活かし取り組みを進めてまいります。

本ファンドを通じて、多様化するスタートアップ企業の資金調達ニーズに応えることで、地域の未来を担うスタートアップ企業の成長を支援し、地元地域経済の持続的な発展に貢献していきたいと考えています。

【ファンド概要】

名 称	紀陽スタートアップデットファンド
総 額	10億円
設 立 時 期	2025年度中（予定）
出 資 者	無限責任組合員（GP）：紀陽キャピタルマネジメント株式会社 SDFキャピタル株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社紀陽銀行
存 続 期 間	10年間（2年間の延長可能）
投 資 対 象	アーリーステージからレイトステージまで各段階のスタートアップ企業

〈スキーム図〉



5. 「Key Site」でのイベント取り組みについて

「Key Site」では、創業・スタートアップ支援を中心として施設運営していくことに加えて、和歌山県の事業者、金融機関、行政や教育機関と連携し、コミュニティ醸成や新規ビジネス創出、採用や人流の活性化を目的に、様々なイベントを開催しています。

例えば、事業者向けでは、紀陽銀行と和歌山県信用保証協会主催の「創業融資相談会」（原則毎月第2木曜日開催）、よろず支援拠点主催の「経営相談会」（原則毎月第3木曜日開催）を開催しており、4月には学生向けに㈱ATOMica主催の就活関連イベント、青山芸術㈱主催の建築学生向けキャリアセミナーを開催しました。

また今後は創業を検討されている方を対象に、当行、CEO X株式会社主催の社長輩出プロジェクト「CEOオーディション和歌山～未来への第一歩～」でのチャレンジステージ、公益財団法人わかやま産業振興財団主催の「創業スクール（全10回）」等、様々なイベントやセミナーを予定しています。

今後も当施設で開催するイベント情報をKey Siteホームページ、SNSアカウントで適時配信してまいりますのでぜひご覧いただき、幅広いお客さまに様々なイベントにご参加いただければと思います。

6. 結びに

当行は今年で創立130年という節目の年となりますが、「地域経済の繁栄に貢献し、地域とともに歩む」という経営理念は今も昔もこれからも変わらず、企業活動を行ううえでの根幹の考え方として、当行に残り続けています。

地域に根ざした“Region Bridge”拠点である「Key Site」での創業・スタートアップ支援の取り組みを通じて、これからも地域の皆さまに対する「感謝」を忘れることなく「地域とともに」歩んでまいりますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

【所在地】

Key Site（キーサイト）

〒640-8341 和歌山市黒田185-3

TEL073-426-7320 FAX073-488-7720



【Key Site HP】

<https://kiyo-keysite.com>



HP



LINE